

[中吐]カルセド(アムルピシン)療法

外科 管理番号 D425

処方医:

適応:小細胞肺癌

3週毎に最大6コース繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
カルセド	●	●	●																				●

cm 体重: kg 体表面積 m²

[投与スケジュール] (クール目)

DAY 1 (月 日) DAY 2 (月 日) DAY 3 (月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
グラニセロン点滴静注用バッグ3mg デキサート9.9mg [30分 点滴静注]	1袋 9.9mg		
生食250mL [60分 点滴静注]	1瓶	生食50mL カルセド40~45mg/m ² [全開][壊死性] 本管生食開始30分後に開始	1瓶
		生食20mL [静注]	1管

[適正使用基準]

- 重篤な骨髓抑制がない。
- 重症感染症またはその疑いがない。
- X線や症状であきらかに間質性肺炎または肺繊維症でない。
- 心機能異常または既往歴がない
- 他のアントラサイクリン系薬剤が限界量に達してない
塩酸ダウノルピシン25mg/Kg以下、塩酸ドキソルピシン500mg/m²以下
塩酸エピルピシン900mg/m²以下、塩酸ピラルピシン950mg/m²以下
- PSが0~2である。
- 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

(初回投与)

血液一般検査	WBC (/μL)	4000 ≤ ≤ 12,000	
	Neut (/μL)	2000 ≤	
	PLT (/μL)	10万 ≤	
	HGB (g/dL)	10.0 ≤	

(2クール目以降)

血液一般検査	WBC (/μL)	4000 ≤ ≤ 12,000	
	Neut (/μL)	2000 ≤	
	PLT (/μL)	10万 ≤	

[骨髓抑制を考慮した投与量の調整]

<ul style="list-style-type: none"> PLTの最低値が5万/μL未満の場合 WBC1000/μL未満またはNeut500/μL未満が、4日以上継続した場合 発熱を伴うNeutの減少(1000μL未満)が認められた場合 	カルセド5mg/m ² 減量
---	---------------------------

[DLFを除く重大な副作用]

- 肝機能異常(GOT/GPT上昇)[倦怠感・黄疸]
- 食欲不振
- 悪心嘔吐
- 口内炎
- 下痢
- 脱毛
- 発熱
- 白血球分画異常[感染症・出血・発熱]
- 血清総蛋白・アルブミン低下[倦怠感]
- 血沈亢進
- A/G比異常

[DLF]

カルセド:	心毒性・骨髓抑
[今回の投与量]	mg
[累積投与量]	mg
[今回の投与量]	mg
[累積投与量]	mg
[今回の投与量]	mg
[累積投与量]	mg

プライミング

抑制

§/body

§/body

§/body

§/body

§/body

§/body